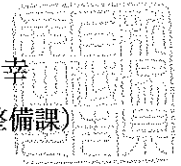


直江津区地域協議会

会長 増田 和 昭 様

上越市長 村山 秀 幸  
(企画政策部新水族博物館整備課)



## 新水族博物館を活用した直江津のまちづくりに関する意見書について（回答）

平成 28 年 2 月 19 日付けで提出のありました意見書について、下記のとおり回答します。

### 記

#### 1 意見書の要旨

平成 30 年の新水族博物館の開館については、地域活性化のまたとない機会であることから、地域住民等との意見交換会を開催するなどして、直江津のまちづくりに必要な事項を審議している。次の各項目については、平成 28 年度に市が主体となって取り組んでほしい。

- (1) 来訪者の利便性とおもてなし
  - ・海浜公園内トイレの案内看板の設置、水族博物館への誘導看板の整備、名所・旧跡等への誘導看板への距離表示
- (2) 渋滞緩和・安全対策
  - ・道路拡幅や歩道整備、まちなかの駐車場の活用、パークアンドライド方式の検討
- (3) 直江津区の PR 策
  - ・インターネットの活用、上越妙高駅や春日山での土産物等の看板設置、案内マップの工夫、駅前観光案内所の整備、レンタサイクルの設置

#### 2 意見書への回答

新水族博物館は、先進的で魅力ある施設として整備いたしますことから、施設の持つ集客力を当市のまちづくりに生かすよう様々な事業に着手しております。

市が主体となって取り組むべきものとしてご意見をいただいた各項目につきまして、渋滞緩和策や PR 策は既に計画を進めているところであり、おもてなし事業などは、引き続き関係者との協議を進めてまいります。また、誘導看板の設置や観光案内所の整備、レンタサイクルの設置など、関係機関の協力が必要な事項については実現性も含めて検討し、適切に対処してまいります。

あわせて、全国から大勢の来訪者をお迎えし、地域活性化を図っていくためには、地元の皆さんの多様な活動も必要と考えます。直江津区地域協議会におかれましても、住民の皆さんに働きかけていただくなど、引き続き、市と連携を図りながら取り組んでくださるようお願いいたします。

